

スマートフォン入門講座

(Ver7.2)

スマートフォンを便利に使おう



マルボラとLINE
友達になりませ
んか

アプリのダウンロード/インストール

・Android系:

Playストアをタップします。次に、検索ボックスに欲しい機能(例えば、「辞書」等)を入力します。リストの中から、自分が使ってみたいと思うアプリをタップし、インストールをタップします。

・iPhone:

Appストアをタップ、下部の虫眼鏡マークをタップし検索画面に変更し、検索ボックスに欲しい機能を入力します。リストの中から、自分が使ってみたいと思うアプリをタップし、入手をタップします。

・らくらくスマホ系:

docomo社のらくらくスマートフォン4以降、Softbank社のシンプルスマホ、au社のBASIOなどはPlayストアから同じようにアプリのダウンロードができます。

アプリのダウンロードには、それなりに大きな情報量を必要とします。そのため、Android系スマホでは「Playストア」の中で「Wi-Fi接続時のみ」とか「ネットワークの指定なし」等が設定できます。設定は「Playストア」⇒右上の「アカウント」⇒「設定」⇒「ネットワーク設定」で行います。また、ダウンロードにはアカウントが必要です。

iPhoneも同じです。設定⇒iTunes StoreとApp Store⇒「自動ダウンロード」の「アップデート」を「オン」、「モバイルデータ通信」を「オフ」(システムのアップデートはWi-Fiが必須)また、ダウンロードにはアカウントが必要です。

アカウントは購入時に必ず決めているはずですので、購入時の書類をご確認ください。iPhoneは毎回(顔認証も可)、Androidは最初の一回だけ入力する必要があります。

アプリの名前が分かっているときはアプリの名前、わからないときはその機能(例えば辞書、歩数計、磁石等)でも検索できます。

今日はスマホに入れても比較的抵抗の少ないと思われる「NHKニュース防災」アプリを使って練習しましょう。

「NHKニュース防災」アプリのダウンロード

検索窓に「NHKニュース防災」と記入し、検索します。候補が表示されますのでNHKニュース防災をタップします。次に「インストール」(iPhoneは「入手」と書かれたところをタップします。

GPS位置情報をONにするメリット

位置情報をONにしておくと、自分のいる位置(スマホのある場所)に関しての情報を簡単に得ることができますので、地図や乗換案内、天気予報等々様々なアプリを便利に使えます。

GPS(位置情報)の ON の仕方

Android、AU、Softbank のらくらく系スマホ



設定アイコンをタップします。

「位置情報」や「GPS」などの言葉を探します(「その他の設定」の中に隠れているかもしれません)。見つけたら、それをタップします。

開いた画面にスイッチがありますので、それを「ON」にします。または、アプリの権限をタップ、位置情報の使用を許可したいアプリをタップして許可します。

ステータスバーに位置情報が表示される機種もあります。その場合は  マークが薄ければ OFF、濃ければ ON です。

iPhone

標準では ON になっているようですが、ON、OFF の切り替えは次のように行います。



設定アイコンをタップします。⇒プライバシーをタップします。⇒位置情報をタップします。開いた画面の一番上にスイッチがありますので、それで切り替えます。

Docomo らくらくスマートフォン

標準では ON になっているようですが、ON、OFF の切り替えは次のように行います。

メニュー⇒Life Kit⇒GPS⇒位置情報提供可否設定⇒位置提供機能 ON(または設定)

または

Menu⇒地図/海外⇒地図・GPS 設定/履歴⇒位置情報提供可否設定⇒位置提供機能 ON(または設定)

アプリのアンインストール(削除)

アプリを使ってみて気に入らなければ削除ができます。

Android、らくらくスマホ系

「Play ストア」をタップ⇒右上のアカウント(人のマーク)をタップ⇒「アプリとデバイスの管理」をタップ⇒初期値は「概要」になっているので「管理」をタップ⇒「インストール済み」が選ばれていることを確認の上、削除したいアプリの右端にある口(□)にチェックを入れる⇒ゴミ箱をタップ⇒「選択したアプリをアンインストールしますか」と聞いてくるので「アンインストール」をタップ⇒アプリは削除されました。

iPhone

削除したいアプリのアイコンをロングタップ⇒アイコンが揺れ始め、右上に×が表示されます⇒×をタップするとアプリは削除されます。

NHK ニュース防災アプリの使い方(GPS が ON になっていたほうが使い勝手が良い)



- ニュース: ニュースが表示されます。
- 天気予報: 全国の天気予報や現在地(GPS が ON になっている必要があります)の天気を見ることができます。
- マップ: 雨雲データマップを見ることができます。6 時間先までの予測が見えます。
- 災害情報: 全国や現在地での災害があれば、災害情報が確認できます。
- ライブ・番組配信: 配信があればニュースのライブ配信を見ることができます。

目覚まし時計の使い方

Android フォン

【時計】アプリを起動すると時間表示の右に ON/OFF のスイッチが表示されます。スイッチをタップして赤色になるようにします。時間を変更したければ時刻表示をタップすると時計が表示されますので時刻を指定します。

音声で指定したい場合は、Google 検索ボックスのマイクマークをタップします。すると、「認識しています」表示の画面になります。そこで、「明日〇〇時に起こして」と言うと、目覚ましを設定されます。

iPhone

【時計】アプリを起動し、画面下の【アラーム】をタップします。画面の右上にある【+】ボタンをタップして、新しくアラームを作成します。ここで、繰り返し - 曜日ごとの設定、サウンド - アラームの曲指定、スヌーズ - 二度寝防止機能、ラベル - アラーム名の設定、時刻 - アラーム時刻の設定などを行います。

らくらくスマートフォン

[メニュー]>[便利なツールを使う]>[スケジュール帳・目覚ましを使う]>[目覚ましを使う]で設定をします。(音声による設定もできるとは思います)

QRコードって何？

最近では、コロナワクチンの接種予約にもインターネットが使われるようになりましたね。接種券が届いたときに、申し込みには QR コードを読み込んで予約サイトから行ってください等と書かれていました。でもどういう仕組みなの？

QR コードとは、四角い中に模様を書いてあるものですが、その模様で文字を表現しています。最近ではテレビでも「画面の QR コードを読んでいただければ……」等との放送もされていますが、これはインターネットのページ(住所)に飛ぶためのものです。つまり、QR コードには該当するインターネットアドレス(住所)が書いてあるだけで、それを読み込むことで(インターネットアドレスを書くことなく)該当するページに移動しやすくするための仕掛けです。

QR コードを読むためにはカメラを使います。最近のカメラアプリは QR コードを読み取る能力を持っているものが多いようです。もしも、自分のスマホカメラアプリに QR コード読み取り機能がない場合は、QR コード読み取りアプリをインストールして使うことができます。

Line のお友達登録にも QR コードが使われています。



左の QR コードは、厚木市のお友達登録ページに誘うアドレスが書いてあります。興味のある方は友達登録してみてください。



左の QR コードは、マルボロのお友達登録ページに誘うアドレスです。友達になると講座情報等が届きます。

Line の友達登録の仕方



Line を開き、ホームタブをタップします。

友達追加タブをタップします。



QR コードをタップします。



カメラの中に前のページの厚木市 Line QR コードをかざして読み込みます。



追加をタップします。

厚木市とお友達になると



様々な情報を通知してくれます。

その中から欲しい情報を選ぶことができます(受信設定⇒お知らせ受信設定⇒欲しい情報を ON、いらない情報を OFF)。

例えば

- 防災行政無線の放送が聞き取れない方のために、放送の内容を Line で知らせてくれます。(防災行政無線を ON にしている人にメッセージが届きます)
- ワクチン接種の(キャンセルによる)空き情報なども知らせてくれます。(市からのお知らせを ON にしている人に届くと思います)
- ゴミの出し方を調べることができます。(ゴミの出し方をタップ)
- 厚木市のコロナ感染状況も調べることができます。(市からの情報をタップ)
- 避難所情報を調べることもできます。(避難所情報をタップ)